□大会第１２日目　　７ 月　21　日 （ 火 ）

決勝戦　楽天Ｋｏｂｏスタジアム宮城　２ 時間　24　分

古川工業	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0
仙台育英	0	0	1		0	10	0		1	1	×		13

（ ２年ぶり25回目の代表 ）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【古】	32	5	0	1	0	3	11	8	0	0
【仙】	37	17	11	3	3	6	3	9	0	0

(球) 加藤正　(一) 佐々木勝　(二) 雁部博　(三) 高橋勝

【古】 佐藤・鹿野・手島・佐藤 ― 渡邉

【仙】 佐藤世・百目木 ― 郡司

▽暴投 佐藤1・鹿野1・手島1(古),佐藤世1(仙)　▽捕逸 なし

▽本塁打 佐藤世(仙)

▽三塁打 平沢(仙)

▽二塁打 佐藤 (古)　青木・佐藤世・立山 (仙)

【古川工業】			打	安	点
(二)		柳澤　飛鳥	4	0	0
(右)		今野　一真	2	0	0
打	右	三品　航介	2	1	0
(投)	左投	佐藤　宏太郎	4	2	0
(中)		庄子　将	4	1	0
(一)		遠藤　快斗	4	0	0
(遊)		齋藤　淳史	3	1	0
(左)	投	鹿野　魁平	2	0	0
投	左	手島　潤也	0	0	0
打		相澤　秀人	0	0	0
走		大内　匠	0	0	0
(捕)		渡邉　彰太	4	0	0
(三)		高橋　優人	3	0	0
計			32	5	0

【仙台育英】			打	安	点
(三)		佐藤　将太	6	4	1
(中)		青木　玲磨	4	2	1
(遊)		平沢　大河	4	1	2
(捕)		郡司　裕也	3	1	2
(一)		佐々木　良介	5	1	0
(左)		紀伊　海秀	3	1	0
走		瀬戸　泰地	0	0	0
左		山本　昇應太	1	1	0
(右)		佐々木　柊野	4	1	0
(二)		谷津　航大	3	1	0
(投)		佐藤　世那	3	3	4
打		立山　貴大	1	1	1
投		百目木　優貴	0	0	0
計			37	17	11

【評】

高校野球１００年の記念の年に決勝進出したのは，仙台育英学園高校対古川工業高校。２年ぶりの私立対公立の一戦。先制したのは仙台育英。３回８番谷津の左安打や犠打などで２死３塁から１番佐藤将の右前適時打で１点を先制した。追う古川工は４回３番佐藤宏の左前安打後二盗し１アウト２塁の好機を活かすことができなかった。５回古川工佐藤宏は盗塁の疲れがあったのか，１番佐藤将と２番青木に連続安打を許し，マウンドを降りた。古川工は投手を替えて流れを戻したかったが，仙台育英は３番平沢の２点適時３塁打，４番郡司の適時打，５番佐々木良，７番佐々木柊の安打などで満塁とし，９番佐藤世の大会第１６号となる満塁ホームランなどでこの回一挙１０点を取り完全に試合の主導権を握った。一方古川工業は８回４番庄子の安打と６番齋藤の安打などで満塁とし，今試合最高の見せ場を作ったが，得点することは出来なかった。主戦佐藤宏は打撃でも２安打１盗塁するなど今大会中投打にわたって活躍した。仙台育英は，秋季県大会優勝，明治神宮大会優勝，選抜出場，春季県大会優勝，そして全国高等学校野球選手権優勝と県内県大会全て優勝という絶対的力を見せつけた。